

## ごあいさつ

舞鶴支援学校行永分校へようこそ！

皆さんは、念願の大学への入学を果たし、夢の実現に向けて期待を大きく膨らませていたことと思います。しかし、残念ながら、新型コロナウイルス感染症の猛威の拡大は留まるところを知らず、かつての平穏だった「日常」が忙殺されてしまい、忸怩たる思いで過ごしてこられたことと思います。

しかし、皆さんは臆することなく、崇高な志を常に抱き、通学に支障をきたす状況下であっても、果敢に所属学部の発展的な学びに挑み、これまで「専門性」を高めてきました。これに加えて、1回生から継続して教職科目を受講し、教員免許状取得のため惜しみなく自己研さんに努め、本日の「介護等体験」を迎えることができたことを先輩教師の一人として大変喜ばしく思っています。

この「介護等体験」は法令上、小学校及び中学校教諭の普通免許状取得希望者に義務づけられており、5日間の社会福祉施設での実習、2日間の特別支援学校での実習を行います。高齢者や障害者に対する介護や介助、交流などを通じて、「対人援助職」として大切にすべき姿勢や視点を学ぶものです。

さて、皆さんの中には、大学卒業後にすぐに教師として教壇に立つ方も居られるかもしれませんが。それまで「児童・生徒・学生」だった者が、いきなり、任地先の学校の児童生徒、保護者様、同僚等から親しみを込めて「先生」と呼ばれることも多いかと思えます。

「先生」と呼ばれても、傲慢になることなく、常に誠実さと謙虚さを忘れることなく、教師は高度な専門性が求められる「対人援助職」の一つであるという自覚を持ち、常に「学び続ける」教師であってほしいと願っております。

行永分校はおもに小学生・中学生の学齢に該当する児童・生徒、とりわけ多くの医療的ケア児が修学し、学びを日々深めています。わずかの時間ではありますが、本校での実習を通じて、自らの成長の一助としていただければうれしく思います。

皆さんにとって、素晴らしい「経験」となることを祈念して、あいさつとさせていただきます。

京都府立舞鶴支援学校  
行永分校  
副校長 堀江 嘉明